FTS-B444-9
第九版：2015年1

S326 取り扱い説明書

このたびは、S326光ファイバ切断器をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
・ご使用の前に、この取り扱い説明書をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使い下さい。
・お読みになった後も、本製品のそばなど、いつも手元においてお使い下さい。

安全にお使いいただくために

この取り扱い説明書には、人身への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読み下さい。

安全にご使用いただくために必ずお守り下さい

注意 ：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お願い ：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

本書の内容につきましては万全を期してはおりますが、お気付きの点がございましたら、連絡先までお申しつけ下さい。
本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって生じた損害等につきましては、当社は一切その責任をおいかねますので、あらかじめご了承ください。

注意

- 本機に水が入ったりしないよう、またぬらさないようにご注意ください。湿気やほこりの多い場所に置かないで下さい。故障の原因となることがあります。
- 本製品は精密機械です。落としたり、ぶつけたり、手荒に扱ったりしない様お願いします。落としてしまったり、ぶつけたりしましたら必ず連絡先に修理点検依頼して下さい。
- 作業の後に本体を運搬する時は、屑箱に入っている光ファイバ屑を捨ててから運搬を行ってください。運搬の際に万一光ファイバ屑が散乱すると危険です。
- ご使用の際には必ず、屑箱を本体に装着してご使用ください。屑箱を本体に装着せずにご使用になると、光ファイバ屑が作業周囲に散乱する可能性があり危険です。

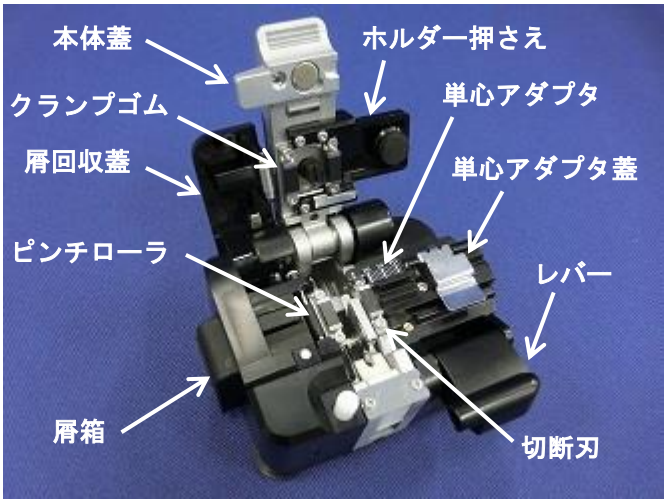
お願い

- 単心アダプタの着脱にはネジに適合した工具をお使いください。また、本体に取り付ける時はネジの締めすぎに十分注意してください。
- 光ファイバ被覆除去長は目標の切断長に対しプラス**14mm以上、25mm以下**としてください。
  例えば：
  16mmの切断を行う時の被覆除去長は16+14=30mm以上、16+25=41mm以下としてください。
- 被覆除去した光ファイバを本製品にセットする前に、アルコール等で清掃して下さい。
- ゴムの清掃に、アセトンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- 次の環境条件を守って、使用してください。
  使用環境温度：-10～+50℃/15%RH
  保存環境温度：-40～+60℃/25%RH（結露無し）

1. 構成

品名	型番	S326A	S326S80
本体	S326A-02	1台	-
	S326S80-02	-	1台
単心アダプタ	S326X-18	1個	1個
標準屑箱	S326X-12	2個	2個
大型屑箱	S326X-13	1個	1個
セミハードケース	S326X-14	1個	1個
六角レンチ	S326X-16	1本	1本
取り扱い説明書	FTS-B444	1部	1部

2. 各部の名称



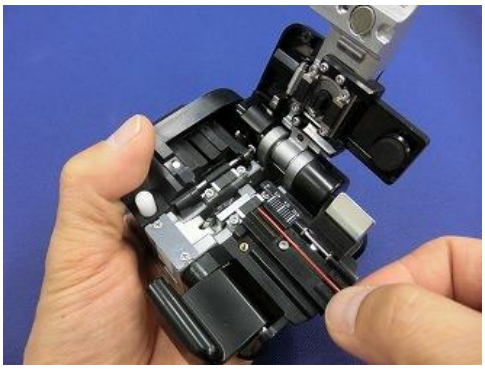
3. 適用ファイバ

種類	切断長	使用ホルダ･アダプタ
単心光ファイバ心線 （被覆外径φ0.25,φ0.90mm）	5～20mm	付属の単心アダプタ(S326X-18)を使用（着脱可能）
光ファイバテープ心線 （0.25mmピッチ,2～12心）	被覆部 3mm 裸ファイバ部 10mm	別売のテープ心線用光ファイバホルダを使用

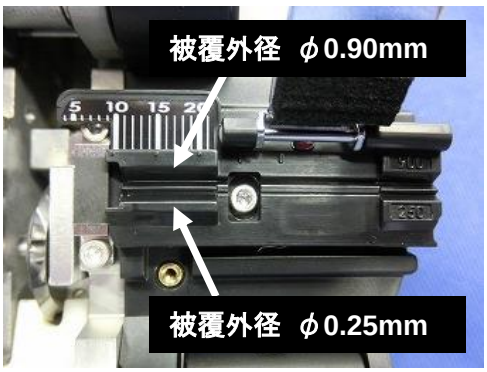
S326S80は、光ファイバ直径が80μmの単心光ファイバ心線専用の切断器です。これ以外の単心光ファイバ心線や光ファイバテープ心線の切断には、S326Aをご使用下さい。

4. 操作手順

4.1. 光ファイバの切断



1) 本体蓋と単心アダプタ蓋を開き、光ファイバ心線の先端を屑箱の溝に入れて、光ファイバ心線を単心アダプタにセットします。その時、光ファイバ心線が単心アダプタに対してまっすぐに出ていることを確認します。
光ファイバ心線の被覆外径に応じて、それぞれの溝に光ファイバをセットします。
テープ心線の場合はファイバホルダ（別売品）を使用します。光ファイバの先端を屑箱に挿入してからセットします。その時、光ファイバ同士が重なっていないことを確認します。



2) 単心アダプタ蓋、本体蓋の順番で蓋を閉めて、レバーを押し下げます。レバーを完全に押し下げることで、光ファイバの切断と光ファイバ屑の屑箱への回収が行われ、本体蓋が僅かに開きます。

ヒント：切断刃はゆっくり移動したほうが刃の寿命を延ばすことができます。

⚠お願い：切断操作中は、本体蓋および屑回収蓋を押さえないでください。

3) 本体蓋、単心アダプタ蓋の順番で蓋を開けて光ファイバ心線を取り出します。

4.2. 光ファイバ屑の廃棄

作業の終了時（又は運搬時）は次のようにして光ファイバ屑を廃棄します。

1) 屑箱の側面を指でつまんで、引き出します。

2) 指で屑箱の上部の左右を軽くつぶすようにしながら、屑箱の蓋を引き上げます。
屑箱を逆さにして光ファイバ屑をごみ箱に廃棄します。

屑箱の中に光ファイバ屑が数本残ることがありますが、屑箱の中に指を入れると光ファイバ屑が指に刺さる恐れがありますので、光ファイバ屑の取り扱いには十分注意してください。

光ファイバ屑の廃棄後、屑箱は本体の元の位置に装着してください。

⚠お願い：本体に屑箱を装着する時は、本体に突き当たるまで押し込んでください。

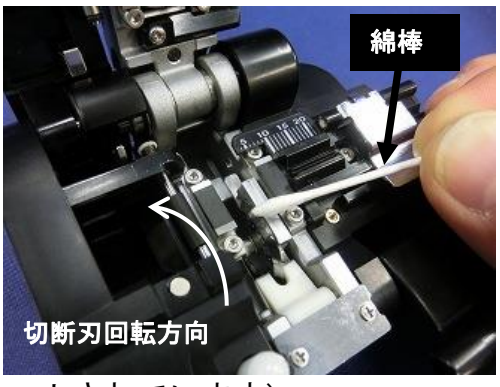
5. 切断刃の保守と切断位置変更

切断刃には“0･2･…･22･”までの合計24箇所の切断位置が用意されていて、一個所に付き約2,000心（※2）の光ファイバの切断が可能です。正常に切断ができなくなった時は、切断刃の頂点部および、上下のクランプゴムをアルコールで湿らせた綿棒などで清掃してみてください。

それでも切れない場合は切断刃の寿命ですので、次の手順で新しい切断位置に切り替えてください。

⚠お願い：ゴムの清掃に、アセトンなどの有機溶剤は使用しないでください。

（※2）刃の寿命を保証するものではありません。切断回数は使用状況やホコリ、油などの周囲環境によって異なります。



1) 本体から屑箱を取り出し、付属の六角レンチを用いて、切断刃固定ネジをゆるめてください。

2) 綿棒等を用いて、切断刃を回します。現在位置の右となりに表示されている「･」または数字が真上になるように回転してください（製品出荷時、切断刃の位置は0にセットされています）。

⚠注意：切断刃に指で直接触れるとけがをする恐れがありますので触らないでください。

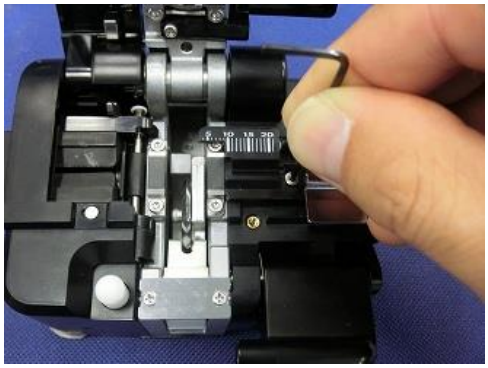
3) 再び切断刃固定ネジを締めてください。

切断刃の全周を使用したら（24個所を使い切ったら）、切断刃を交換する必要があります（有料）。切断刃の交換は弊社サービスセンターにご用命ください。

6. ピンチローラの保守

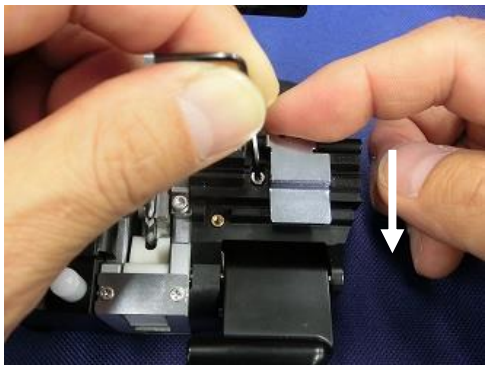
切断後の光ファイバ屑を回収する機能を十分に発揮するために、定期的にピンチローラ部をアルコールで湿らせた綿棒などで清掃してください。

ピンチローラのゴム面に、摩耗によって目視で確認できる程度の溝が発生しますが、溝の深さが光ファイバ心線の直径程度以下であれば、光ファイバ屑の回収機能には支障をきたしません。ピンチローラを清掃しても光ファイバ屑の回収が困難な場合には、単心アダプタ位置を移動してピンチローラの未使用部分を使うことができます。

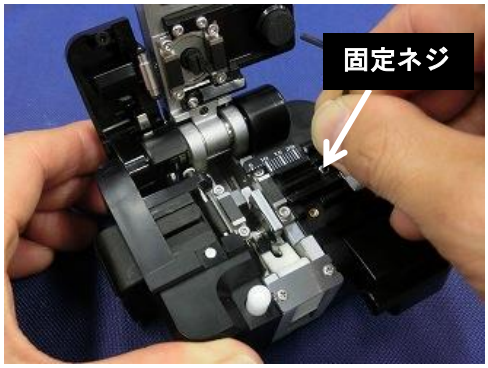


1) 付属の六角レンチを用いて、単心アダプタ固定ネジをゆるめてください。

2) 単心アダプタを持ち、レバー側へ動かします。壁に突き当たるまで、約1mmほど移動してください。



3) 単心アダプタを指で支えた状態で、再び単心アダプタ固定ネジを締めます。



単心アダプタ位置変更後でも、再度光ファイバ屑の回収が困難になった場合には、ピンチローラの交換が必要です（有料）。交換は弊社サービスセンターにご用命ください。

7. ファイバホルダでの使用

ファイバホルダ（別売品）を使用する場合は、本体から単心アダプタ(S326X-18)を取り外してから行ってください。

単心アダプタの蓋を開け、単心アダプタ固定ネジ（1本）を緩めてから取り外します。

切断後の光ファイバ心線は、ホルダ端面から光ファイバ先端まで13㎜になります。

8. ホルダー押さえの取り外し

本体蓋を開き、精密ドライバでホルダー押さえ固定ネジ(2本）を緩めてから取り外します。

9. 連絡先

技術的なお問い合わせは…
〒267-0056　千葉県 千葉市 緑区 大野台 2-10-4
古河電気工業株式会社 ファイテル製品事業部 アクセスネットワーク部 CS１課
TEL:043-226-5871　FAX:043-226-5725

修理･メンテナンスは…
〒267-0056　千葉県 千葉市 緑区 大野台 2-10-4
古河電気工業株式会社 ファイテル製品事業部 アクセスネットワーク部 千葉サービスセンター
TEL: 043-226-5810　FAX: 043-295-6333